みんなで支えよう！子どもたちのICT教育！　第4号

Miki タブレット通信

令和4年11月　発行
三木市教育委員会
三木市立教育センター



★ 三木市の子どもたちの驚くべきネット利用の実態



8月23日に、中学校の生徒会代表が集まり、三木市スマホサミット2022が開催されました。今年で8回目を数え、三木市の子どもたちのスマホやネットの使い方について考え、毎回様々な提言を行っています。

そのスマホサミットで、兵庫県立大学の竹内和雄准教授とソーシャルメディア研究会が、三木市の小中学生のスマホやインターネットに関するアンケートの最新結果が示されました。今回は、その結果について報告します。

低学年のスマホ所持率が急上昇

まず驚いたのが、スマホの所持率（グラフ黒）です。学年が上がるとともに、スマホの所持率も上がるのが一般的です。しかし、三木市では、小学校1年生男子で35%、小学校2年生女子で36.5%と非常に高い結果となりました。全国で同様の調査をされてきた竹内准教授も初めて見た数値だそうです。これを見るだけでも、ネットに触れる年齢は、かなり低年齢化しているということがわかります。





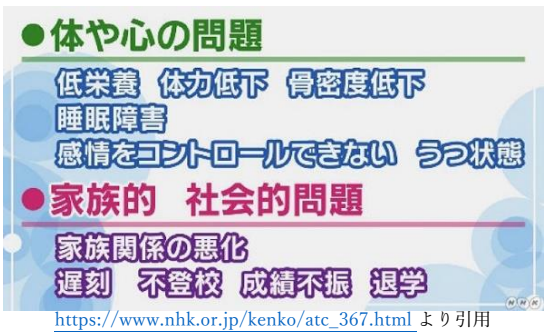
回答者数
小学生（1～3年）　356人
小学生（4～6年）　1505人
中学生　1409人　合計3270人

ご存じのように、学校ではタブレットを小学1年生から使っています。つまり、ネットに触れられる環境は、すでに整っています。それを考えると、決して早すぎることもないかもしれません。

何歳から自分のスマホを所持するのかについては、各家庭での判断となりますが、年少の子どもにスマホを持たせるということは、スマホを渡す大人に責任が求められることをより強く意識する必要があります。

もしかしてネット依存？

ネット依存とは、「勉強や仕事といった生活面や体や心の健康面などよりもインターネットの使用を優先してしまい、使う時間や方法を自分でコントロールできない」状態のことを指します。ネット依存になると、体や心といった健康面や、家族や社会といった人間関係に問題が起こり、右図のような症状に繋がります。



https://www.nhk.or.jp/kenko/atc_367.html より引用

次の①～⑧の項目を読んで、自分がいくつの項目に当てはまるか、試してみてください。これは、アメリカのキンバリー・ヤング博士が作成した、ネット依存度を調べる指標です。8つのうち、5つ以上に当てはまれば、ネット依存の傾向があるといえます。

竹内先生の調査から、三木市の小学生は15.9%、中学生は18%が依存傾向にあるということが明らかになりました。これは全国的に見ても非常に高い結果です。

ネット依存の傾向が強くなることによって、子どもたちの心身の不調につながらないか、また将来的な不具合を招くことにならないか心配しています。

ネット依存？

①ネットに夢中と感じる
②満足のため使用時間をもっと長時間したい
③中止を試みたがうまくいかないことがたびたび
④時間を短くしようとするとイライラする
⑤考えていたより長く続けてしまう
⑥ネットで人間関係を台無しにしたことがある
⑦熱中を隠すため家族や先生に嘘をついたことが
⑧絶望、不安から逃げるためにネットを使う

全国中学校平均 12.4%（2018年）

三木市 小学校 15.9%
中学校 18.0%（2022年）

スマホやネットがなくなってしまったら問題は解決する？



ネット依存にならないように、思い切ってスマホやインターネットを使わない生活を考えるのも対策の1つです。

では、もしもあなたのスマホがなくなれば、どうやって家族や友だちに連絡を取りますか？電話をかけますか？相手の電話番号は知っていますか？そもそも相手のお宅に電話はありますか？レシピを調べたいとき、レシピ本を買いますか？言葉の意味を調べたいとき、辞書を持ち歩きますか？



以前は当たり前にしていたことでも、今するのは大変難しいですね。このように、スマホやインターネットは私たちの生活に深く入り込んでいて、もうスマホやインターネットを使わないで生活することは不可能になっています。

子どもと大人が一緒になって考えることが最も大切！

便利だけれどネット依存などの危険性もあるスマホやインターネットとどう付き合っていくか。それは、サミットでも話し合ったルールをつくって守ることと、1人1人が上手く付き合うための力を身につけることです。そして、ネット依存にならないための最も有効な方法は、「スマホやインターネットよりも楽しいことを見つける」ことです。例えば、キャンプや料理、楽器演奏、スポーツなど、自分が主体的に取り組み、達成感や充実感が得られるものが良いと言われています。つまり、小さい頃から様々なことを実際に経験することです。そのためには周囲の大人の助けが不可欠です。



三木市の子どもたちに起こっているネット依存の問題は、子どもたちだけでなく大人も一緒になって考え、行動していかなければなりません。まずは各家庭で、スマホやインターネットを使うときのルールをこの機会に見直してみてはいかがでしょうか。